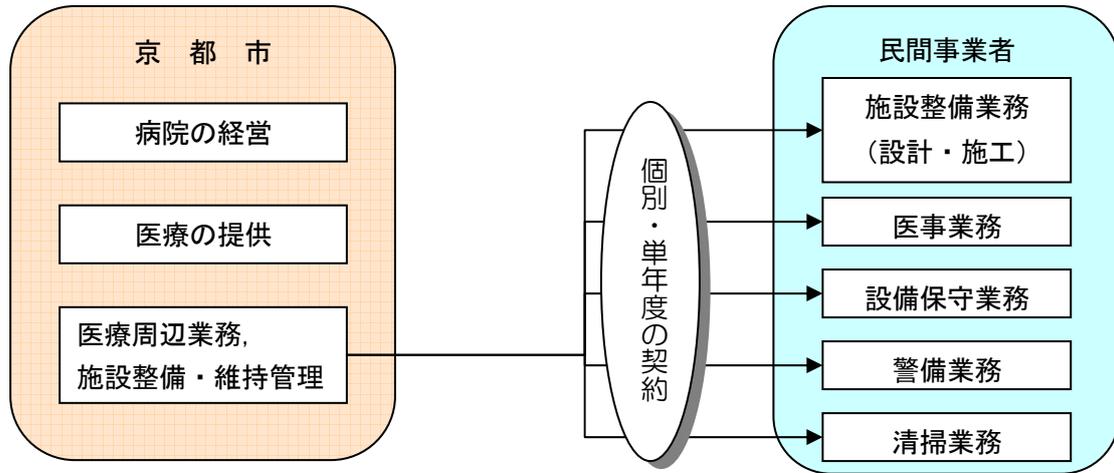
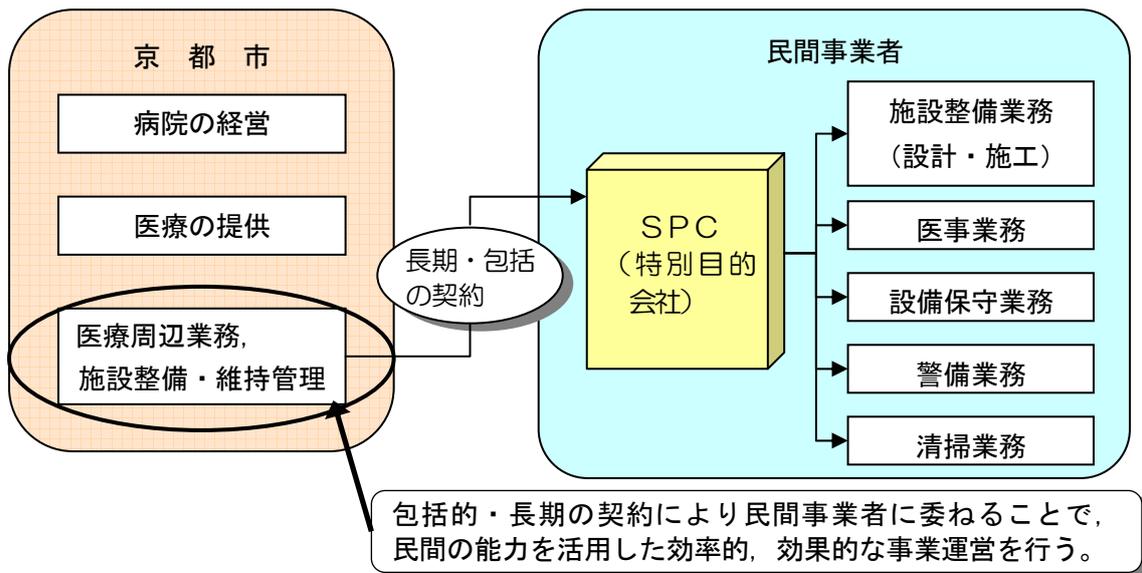


3 病院と民間事業者との関係

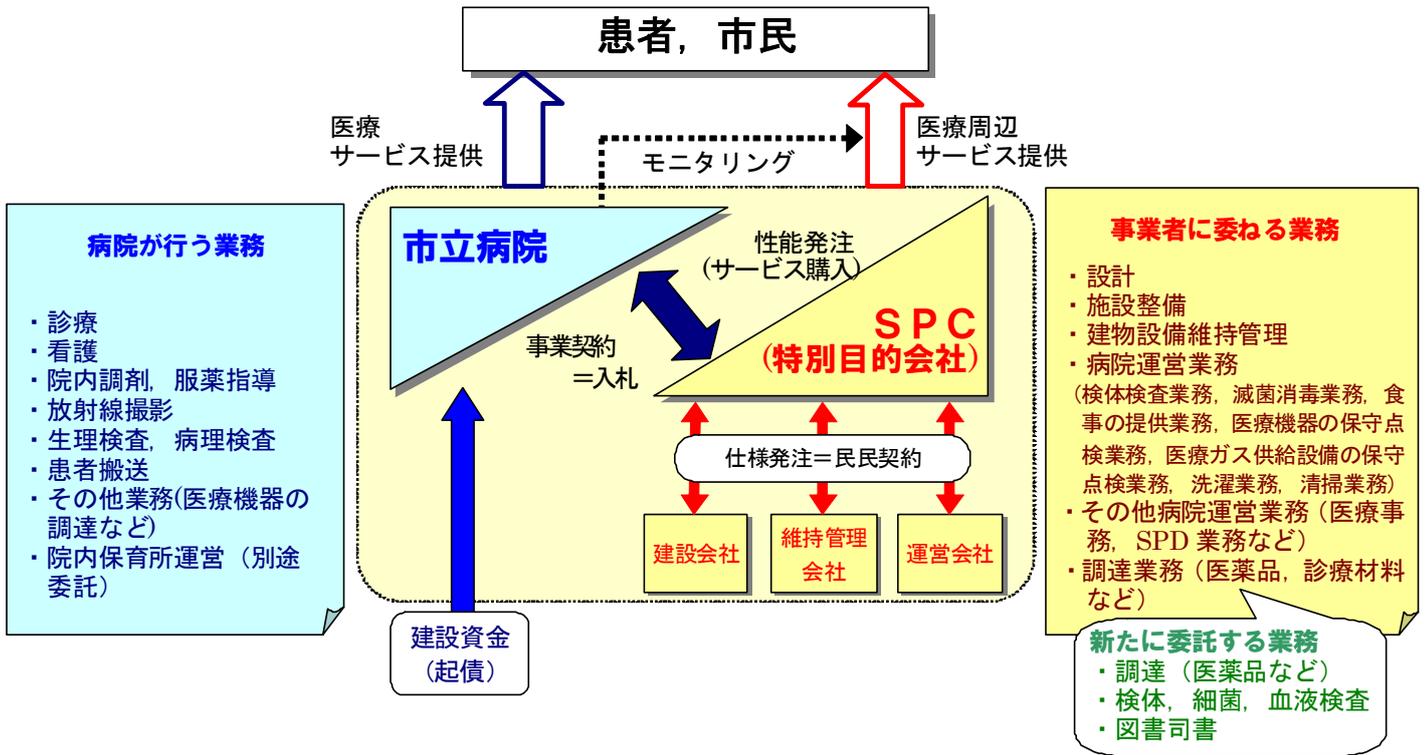
<従来手法>



<今回の手法>



4 SPCの業務範囲



5 先行病院PFI事例における主な課題と本市の対応

(1) 現状・課題

他の自治体における病院へのPFI手法の導入事例で、既に運営を開始しているのは、高知医療センター、近江八幡市立総合医療センター、八尾市立病院、島根県立こころの医療センター、都立駒込病院、都立多摩総合医療センター、都立小児総合医療センターの7施設であり、可能な限り現地調査を含む綿密な調査・分析を行った。

このうち、事業を実施する上での問題点が生じているとされているのは、高知医療センターと近江八幡市立総合医療センターである。

(2) 近江八幡と高知における課題と本市の対応

本市では、近江八幡市立総合医療センター、高知医療センターの先行事例について、同様の問題が生じないように、各問題点をすべてクリアした計画としている。

ア 近江八幡市立総合医療センター

【課題】

- ① 建設資金をすべて事業者が調達したことにより、金利負担が多大なものとなった。
- ② 大規模修繕が事業に含まれていたことにより、毎年の支払の負担が重くなった。
- ③ 事業収支見込みが杜撰であった。

【本市の対応】

- ① 施設整備に係る資金は、事業者ではなく本市が起債により調達することで、できるだけ金利負担を少なくした。
- ② 大規模修繕は事業対象外とした。
- ③ VFMを過大に見込むことのないよう精査するとともに、経費支出が収入に見合う、身の丈にあった事業計画とした。

イ 高知医療センター

【課題】

- ① 建設費を企業団とSPCが50%ずつ調達しており、SPC調達分の金利負担が大きくなった。
- ② 薬剤費や診療材料費の調達費を、診療収益に対して23.4%に抑えたとのSPCの提案を受け、契約書にもこれを目標値として掲げて、契約を締結したが、実際の比率は30%程度で推移しており、この比率の差は年間8億円に相当し、期待していた削減効果が得られなかった。
- ③ 委託料等の経費が割高であり、PFI手法を採用したことによる効果が発揮できていない。

【本市の対応】

- ① 施設整備等に係る経費の全額を病院側で直接調達することとした。

- ② 調達業務をSPCに委託することによって、診療収益対材料費比率そのものが変動するとは見込んでおらず、加えて、客観的な指標（ベンチマーク）による分析やモニタリング等により、その実現を担保できるよう、適切な事業計画としていくこととした。
- ③ 委託料については、PFI手法による場合は、従来手法では見込んでいない全体マネジメントや経営支援、SPCの運営費などの増額要素もあるが、人件費の削減効果があるため、医薬品等調達のような変動的な経費での経費削減効果はもちろんのこと、業務委託費に施設整備費と医療機器調達費も含めた、いわゆる固定的経費全体で経費削減効果を得ることができた。

6 事業期間中の状況の変化への対応

本事業に係る事業契約は、長期契約であるが、今後起こり得る様々な状況の変化にも適切かつ柔軟に対応できるように、事業契約書には次のような規定を明記している。

(1) サービス対価の支払方法

ア 整備費、医療機器等購入費、運営・維持管理費

事業契約書に定めた一定額を支払う。ただし、(2)の内容に沿って、サービス対価の改定を行うことができる。

イ 医薬品等調達費

単価（毎年、SPCが卸業者と交渉し、市立病院が合意した単価）×数量を支払う。

ウ 検体検査業務、食事の提供業務及び洗濯業務

設定単価×実需要数を支払う。

(2) サービス対価の改定

ア 物価変動に伴うサービス対価の変更

運営・維持管理業務のサービス対価については、事業期間中の大幅な物価変動があった場合は、年1回改定することができるとしている。

イ 患者数等の大幅な変動によるサービス対価の変更

医療法に基づく医療周辺業務などの運営に関する業務については、診療科目の変更、患者数及び疾患動向の大幅な変化等を勘案して、5年に1度、見直しのための協議を行うことができる。

(3) 要求水準書、業務仕様書及び業務マニュアルの変更

診療科目の変更、患者数及び疾患動向の大幅な変化などに適切かつ柔軟に対応するため、病院は要求水準書の内容を変更することができる。

また、事業者は要求水準書を満たす限りにおいて、業務仕様書及び業務マニュアルを見直すことができる。

京都市立病院整備運営事業提案審査委員会名簿

◎…委員長

○…副委員長

平成20年8月12日現在

	氏 名	肩書等
	我部山キヨ子	京都府看護協会会長
	神吉 紀世子	京都大学大学院工学研究科准教授
	高木 博司	保健福祉局保健衛生推進室部長
	古川 啓三	京都市立病院副院長
	平家 直美	都市計画局公共建築部長
○	槇 系	近江八幡市立総合医療センター院長
	向原 純雄	京都市立病院院長
	森 洋一	京都府医師会会長
◎	門内 輝行	京都大学大学院工学研究科教授

(五十音順, 敬称略)